

製品名: KPI-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13098**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	164kDa

抗原情報

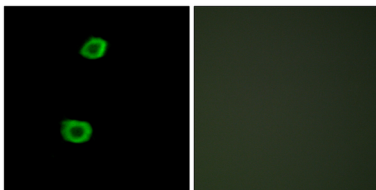
遺伝子名	LMTK2 LMTK2; AATYK2; BREK; KIAA1079; KPI2; LMR2; Serine/threonine-protein kinase LMTK2;
別名	Apoptosis-associated tyrosine kinase 2; Brain-enriched kinase; hBREK; CDK5/p35-regulated kinase; CPRK; Kinase/phosphatase/inhibitor 2; Lemur tyrosine kinase 2
遺伝子 ID	22853.0
SwissProt ID	Q8IWU2
免疫原	抗血清はヒト LMTK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 651-700

背景

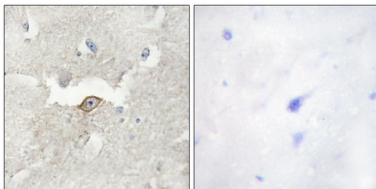
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質キナーゼスーパーファミリーおよびタンパク質チロシンキナーゼファミリーに属します。N末端に膜貫通ヘリックスを有し、C末端にはセリン/スレオニン/チロシンキナーゼ活性を持つ長い細胞質末端を有します。このタンパク質は、Inhibitor-2 (Inh2)、タンパク質ホスファターゼ-1 (PP1C)、p35、ミオシンVIなど、いくつかのタンパク質と相互作用します。また、他のタンパク質をリン酸化します。さらに、サイクリン依存性キナーゼ5 (cdk5)/p35複合体と相互作用する際には、自身もリン酸化されます。このタンパク質は神経成長因子(NGF)-TrkAシグナル伝達に関与し、エンドソーム膜輸送においても重要な役割を果たします。マウスを用いた研究では、このタンパク質が精子形成において重要な役割を担っていることが示唆されています。[RefSeq提供、2009年10月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質,機能: PPP1C、ホスホリラーゼb、CFTRをリン酸化する,オンライン情報: LMTK2 エントリ,PTM: 自己リン酸化。リン酸化。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンキナーゼファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、サブユニット: PPP1C およびインヒビター2と相互作用する。、組織特異性: 主に骨格筋で発現し、脳と膵臓でもわずかに発現する。、

研究分野

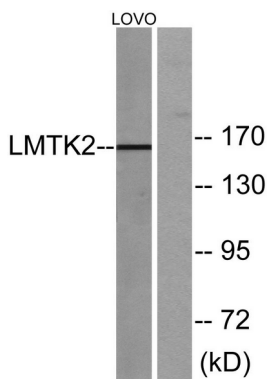
画像データ



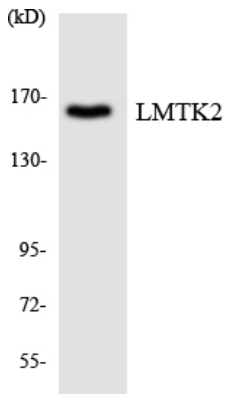
LMTK2抗体を用いたHepG2細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



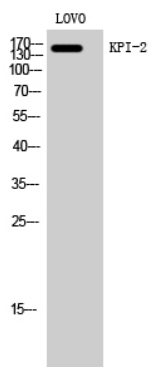
LMTK2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



LMTK2抗体を用いたLOVO細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



LMTK2 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



KPI-2 ポリクローナル抗体を用いた LOVO 細胞のウェスタンブロット解析